


相談員日記

飯舘村社会福祉協議会

 主任生活支援員 安部様

村では、住民の方々にDシャトルを持ってもらい、個人の外部被ばく線量の測定・管理を行っています。社協では住民と村の担当者との「つなぎ役」としてこの測定の手伝いをしています。現在、合計で120名ほどの住民がDシャトルを身に付けております。住民の方々からは、「自分の行動範囲の線量がわかる」、「この場所で暮らしていくその判断材料になる」など非常に良い感想を頂いております。

また、村では、外部被ばく線量測定と並行して非破壊式の食品放射能検査装置を設置し、食品測定の機会を住民に提供しております。装置はタッチパネル式で簡単に操作でき、誰でも気軽に食品の測定ができるため、自分の畑で採れた野菜などを持ちこんで自分で放射線量を確認している人が増えてきています。これからの時期は果実が採れるのでさらに利用者が増えるのではないかと思います。

水の心配はあまり聞いたことはありませんが、飲料水はウォーターサーバーを使う家庭もあるようです。

放射線の個別の不安に対しての参考資料では「暮らしの手引き」など、研修で配布された資料は見やすく分かりやすいので、私も便利に使っています。

